

北島、200mも金



男子200メートル平泳ぎ決勝 2分9秒44の五輪新で金メダルを獲得した北島康介＝水泳センターメーンプール（共同）

五輪新で2冠の偉業

アテネ五輪第6日（十八日）競泳男子二百メートル平泳ぎ決勝で北島康介（日体大、東京SC）が世界記録保持者ブレンダン・ハンセン（米国）を抑えて快勝、二百メートルに続いて競泳個人種目2冠の偉業を達成した。

二百メートルで悲願の金メダルを取っても、北島の闘争本能は牙をむいたままだった。競泳男子二百メートル平泳ぎ決勝で、世界記録保持者のハンセン（米国）、ハンガリーの新星ジュルタらを、2分9秒44の五輪新のタイムをたたき出して撃破。1冠では飽き足らない。金メダルへの渴望が、日本のエースを平泳ぎ2冠へと導いた。ハンセンとの一騎打ちだった二百メートルとは勝負の構図が変わった。十

五歳のジュルタは予選、準決勝とトップタイムを出し、金メダル争いに急浮上してきた。

手の内を知り尽くし、二百メートルでも快勝したハンセンに対し、ジュルタはラスト50メートルで抜群のスピードを持ち「急に伸びてきた。一番不気味。最後の15メートル、いや5メートルが勝負になる」と平井コーチ。しかし、「勝負師」北島は積極的かつ冷静なレース運びでハンセンを返り討ちし、新鋭の挑戦も退けた。

北島康介選手の話 冷静に泳げた。（2冠は）意識せず、自分の泳ぎを日本の人に見せられたらいいなと思った。気持ち的に楽だった。周りを見ることができた。（共同）